

『外食メニュー別特徴と食べ方の工夫』

外食の特徴は、主食・油が多く、野菜が少ないことです。

- 1食分の（エネルギー・主食量）を把握しておく。
- 買い（注文）すぎないように心がける。
- 主食だけに偏らない。（ラーメンとおにぎりは×）
- 野菜料理をプラスする。
- 野菜料理もしくはおかず（蛋白質）からよく噛んで先に食べる。
- ドレッシングは、ノンオイルドレッシングを選ぶ。
- 調味料は、まず味をみてからかける。
- 飲み物はOkcalにする。 ジュース→ お茶
- 栄養表示を参考にする。エネルギー・糖質量・塩分など

- 主食主菜副菜のあるメニュー選びを心掛け、過剰な主食を調節します。
- 糖質のみの食事は、血糖が上昇しやすい食べ方です！
- 糖質に比べ、蛋白質・脂質を増加したほうが血糖への影響度は少なく、腹持ちもよくなります。

●和風めん類



お勧め→山菜・きつね・おかめ・肉南蛮・けんちん

工夫必要→ざる・てんぷら・ちから



- ✧ 温かい麺は1玉が（ご飯150g分）です。
冷たい麺は（ご飯250g分）が1皿です。
- ✧かけ等は、蛋白が使われているので、卵や唐揚げなど補います。
- ✧ 天ぷらは衣を残すと油と糖分を減らすことができます。
- ✧ 野菜が不足するので1品追加して補います。（ほうれん草など）
- ✧ つゆ1人前で3~4gの塩分、6gの糖分が含まれるので飲まないようにします。

●丂もの



お勧め→親子丂・海鮮丂

工夫必要→カツ丂・天丂・うな重・牛丂



- ✧ ご飯250~300g（茶碗2杯分）あるので
注文時にご飯『少な目』『小盛り』など頼むとよいでしょう。
- ✧ 野菜が少ないので1品料理（サラダやお浸しなど）プラスしま
しょう。

●すし



お勧め→にぎりずし+野菜

工夫必要→ちらし寿司・かんぴょう巻き・大阪寿司

- ✧ ご飯の量は店により異なりますが、1皿（2貫）30~40g（64Kcal+ネタのカロリー程度）あります。
ご飯200gの人で5皿（10貫）ということになります。
ネタは脂の多い魚ほどカロリーが高いです。また野菜が少ないので、先に海鮮サラダや、海藻など摂取するとよいです。

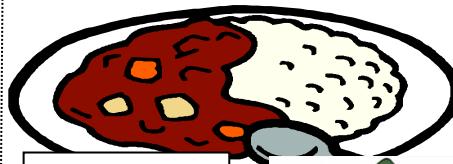
ご飯の量の比較

10貫

=おにぎり2個分のご飯



●カレーライス



+サラダ



<外食>

- ご飯が250g程度なのでご飯の量を調節します。
- 芋は炭水化物なのでごはんと交換します。
- 付け合せにサラダをたのみましょう。



<家庭・低カロリーにする工夫>

- ルーは1片100kcalで高カロリーなので、ルーの分量を少なくし、カレー粉で補うや、ルーを市販で低カロリーの物があるので変更する。
- 具を油で炒めないで煮込む。肉を赤身にする、シーフードに変更する。ブロッコリーやパプリカ・オクラなどの野菜を具材で増やすと見た目も華やか低カロリーでボリュームもでます。

●ラーメン



お勧め→タンメン・五目・冷やし中華

工夫必要→チャーシュー・ワンタン・餃子・炒飯

- 麺1玉で240gで、ご飯240g相当なので残します。
- 餃子や炒飯など炭水化物を重ねないようにします。
- 野菜・たんぱく質(肉魚卵大豆など)あるものを選びます。
- 塩分が多く、1食で1日分相当(6~7g)汁を残します。

●1食当たりのカロリーと糖質目安

1食当たりの目安

中食・外食では栄養表示が表示されている場合も多いです。参考にするとよいです。

1日エネルギー	1200	1440	1600	1840	2000
1食あたり目安エネルギー(Kcal)	400	500	530	615	666
糖質(炭水化物)(g)	50~61	62~74	68~80	81~92	87~99

塩分は、減塩必要ある方は6g。ない方は男性8g女性7gが1日の目標です。



大戸屋HPより引用



かっぱ寿司HPより引用



すき家HPより引用

●果物の1日分目安量

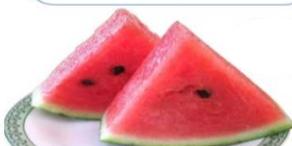
スイカ
200g
1/16個



ぶどう
150g
(巨峰サイズ)
13粒



梨
200g
½個



もも
200g
1個



ご飯の量(糖質量)
ミニ180g(72g)
並250g(100g)
大盛350g(140g)